

「第二次東久留米市子ども読書活動推進計画（素案）」に関するパブリックコメント

募集期間 平成 25 年 11 月 16 日～12 月 8 日
 受付件数 4 名(電子メール 3 名、持参 1 名)

項目	意見の内容	意見に対する方針 等
乳幼児への取り組みの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児への取り組みは、ぜひ行ってほしい。 	第二次計画は、4つの基本方針を掲げ、その中でも特に乳幼児への新たな取り組みを目指しています。地域の読書活動と連携して取り組んでいきます。
「読むこと読書のたのしみ」を社会全体で (学校での読書活動の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次計画と同様に、第二次計画でも学校の項目を設けて具体的方策を明記してほしい。全校への司書配置を望む。(同意見 3 件) ・ 子ども読書活動は、乳幼児期から継続して学童期も読書指導が大切であり、調べ学習の指導とあわせ学校司書が欠かせない。 ・ 学校図書館の司書配置についてその状況を具体的な数字を添えてほしい。 	学校図書館の充実を図るため教育委員会では「学校図書館充実のための整備計画」を策定し、順次整備を進めています。 各学校の学校図書館運営計画に基づき、教科学習や読書活動を充実します。
子ども読書応援団の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、幼稚園でのおはなしボランティアは、現在既に活動している団体があるが、応援団の実施前に、ニーズ調査を行う必要がある。 ・ 人材バンクについては、その内容等を精査して、図書館がそのコーディネーターの機能を果 	子ども読書活動のネットワークと人材バンクの構築については、現在行われている地域や学校の活動の情報共有を進めながら、学校・子ども施設でのニーズに合わせ人材育成や実施方法を検討していきます。

	<p>してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材バンクで派遣するボランティアは、有償なのか。 	
<p>計画の進行管理と 図書館活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次計画の検証結果が低かった取り組みについては、更なる充実をめざし、高い評価についてはその内容を維持してほしい。また、検証の根拠となる具体的データを示してほしい。 ・第一次計画では市内の連携が不明確だった。第二次計画では、中央図書館が中心的役割を担い、関係各課と連携して子ども読書活動を推進してほしい。 (同意見 2件) ・この素案には、図書館運営上の大きな変化（地区館3館は指定管理者による運営）について書かれていない。子ども読書活動推進計画の中心は公立図書館であるべきと考えるので言及すべきと思う。 	<p>地域の活動の連携を進めるためにも、関係各課の連絡を密にし連携した子ども読書活動を推進します。</p> <p>図書館の運営に関しては、中央図書館と指定管理者は協力して事業を実施し、子ども読書活動を推進します。</p> <p>今回頂きました様々なご意見やご提案を「子ども読書活動推進計画」推進の参考にさせていただきます。</p>

ご意見と検討委員会の考え方

頂いたご意見の概要とそれに対する考え方については、「第三回東久留米市子ども読書活動推進計画検討委員会」に資料として提出した上で取りまとめました。

(お問い合わせ)

東久留米市立中央図書館

電話 042-475-4646